第三次国立市子ども総合計画重点取組みの実施評価

重点的取組み名	所管課	総合評価
保育サービスの整備・提供体制の充実	保育幼児教育推進課	C

	取組み内容	評価
1.	認可保育所の新設、認定こども園の認可、地域型保育所の整備をします	E
2.	国立市子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成31年度までに保育施設の整備を行い待機児童の解消を図ります	C
3.	幼稚園教諭や保育士等による合同研修、配慮を必要とする子どもにかかわる職員の資質向上を図ります	C
4.	教育・保育にかかわる職員の処遇改善を図ります	C

令和6年度までの実績または取組の現状

- 令和2年度にこども園を1園整備して以降は、待機児童数の減少及び各クラスの定員割れを受け追加の整備を見送っている。
- 令和5年度 旧定義 0歳:18人 1歳:30人 2歳:7人 3歳:1人 4歳:2人 5歳:2人
新定義 0歳: 2人 1歳: 8人 2歳:2人 3歳:0人 4歳:1人 5歳:2人
- 令和4年度に幼稚園教諭や保育士等が様々な分野の研修が受講できる「幼児教育センター」を設置
- 東京都の宿舍借り上げ支援事業を活用し、保育士の処遇改善を図った。

課題及び改善点

今後の方向性

継続実施

理由

- ・待機児童はほぼ解消状態となっているものの、各園の定員割れが顕著になってきており、保育の質の確保のためにも対応が必要となっている。今後に向けては、現状を踏まえた各園との定員調整や国の制度などを活用した対策などが求められる。
- ・令和5年4月に設置した幼児教育センターにおいて、くにたち子どものゆめ未来事業団と連携し、幼児保育教育の質の向上のための研修を体系的に実施し、幼稚園教諭や保育士等のスキルアップを図っている。